



高崎和

Nodoka Takazaki

国民体育大会九州ブロックの部で優勝を果たした高崎和さん。高校3年最後の夏の熱い戦いそして、高崎さんのこれまでの軌跡に迫ります。



**受け継がれる誇りを
胸に挑む初の国体**

3歳からダンスを始め、中学校時代にはバスケットをし、運動が大好きな高崎さん。鞍手高校のオープンスクールで弓道部の見学にいったのが弓道との出会いでした。「最初は、簡単そうだと思っていましたが、実際はとても難しく、全体的に当たらなかったです。でも、練習をしていく中で的に当たった時はとても嬉しく、自分の成長がやりがいにつながり弓道が好きになりました」と当時を振り返ります。

当時高校2年生の高崎さんの先輩である今川くみるさんが初の国体に出場し、その活躍を一番近くで見ていた彼女は、「私も国体に出場し、良い結果を残したい」と思うようになり、高崎さんは弓道にのめり込みます。そして、迎えた6月4日、博多で行われた令和5年度国体福岡県代表選考会で1700人の中から4人に絞られる最終選考を勝ち残り、国体への出場権を掴みました。高崎さんは「私がそうだったように、みんなから憧れの存在になれるよう全力で国体に挑みたいです」と熱き想いを胸に語りました。



高崎 和 (鞍手高等学校3年生)

平成17年7月22日、福智町赤池生まれの18歳。市場小・赤池中学校卒業後、福岡県立鞍手高等学校に進学。自身、初の国体弓道少年女子の部に出場。趣味はダンス。

**更なる高みを目指して
まだまだ続く弓「道」**

8月19日・20日に行われた国民体育大会九州ブロックの部で近似的優勝、遠的2位で総合優勝をして見事、全国大会への出場権を獲得しました。指導者の村井哲也先生は「今大会でミスはあったんですが、しっかり平常心で矢を引き続けたことが今回の結果に繋がったと思います」と今大会を振り返りました。

高崎さんは、「今回、優勝できてとても嬉しかったんですが、少しミスがあったので、全国大会ではこうしたミスをなくして優勝を目指したいです」と結果の喜びと同時に10月に行われる全国大会に向け意気込みを語りました。今大会で見せた高崎さんの誇りは、次の世代にとって大きな憧れとなり受け継がれていきます。